KAGAWA アンバサダーからのお便り～吉林千里さん～

日本と中国の食を通した文化交流、アジア圏における日本の飲食文化の広がりについて

中国の北京、上海、深圳等の大都市では本格的なイタリアンやフレンチなどの西洋料理に限らず、本格的なインド料理やメキシコ料理、そして、家庭料理、寿司、とんかつ、鉄板焼き、焼き鳥、炉端、懐石料理などバラエティーに富んだ日本食を楽しむことができる飲食店が数多くあります。

他方、近年、「日式西餐」として日本のいわゆる洋食が中国やアジア諸国で人気となっています。日本の独創的な西洋料理、日本独自の食材や調味料、割烹方式により、欧米の西洋料理とは異なるものが「日式西餐」の定義のようです。

例えば、オムライス、ナポリタンスパゲッティ、明太子スパゲッティ、シチュー、カレー、とんかつ、コロッケなど、日本の食生活においてありふれた家庭的なメニューが、中国やアジア諸国の若者やファミリー層に注目されています。

上海の某日系の日本料理店では、本格的な和食よりも、ポテトサラダ、フライ、プリンなどの洋食を好む中国人の若者やファミリー層が多く、「日式西餐」メニューも充実させていました。

また、「日式西餐」にとどまらず、日本独自の食材や調味料、割烹方式により考案された「日本式中華料理」も中国やアジア諸国で人気です。特に、ラーメン店では長い行列も珍しくはないですし、一杯が数千円のお店も存在します。そして、県産の製麺機が世界中で大活躍しています。

海外の人気うどん店に限らず、ラーメン店でも
県内企業の機械が大活躍しており、誇らしい。
県内の企業(株式会社大和製作所)の WeChat の公式ページより

一方で、日本では、近年、「ガチ中華」と称される、本場の中国料理を提供する店が人気となっています。中国の家庭料理や、郷土料理、スパイスの効いた本格的な火鍋、麺料理など、

本来は日本に滞在する中国人向けの営業が主であった飲食店や、中国人が経営運営を行う飲食店へ、「本場の味を楽しめる！」と、足を運ぶ日本人が増えたようです。

日本で本格的な蘭州牛肉麺が
楽しめる店内にて
中国人によって
経営運営されており、
店内で飛び交う言葉は中国語。
客の半数以上は中国人とみられる。

韓国、ソウルでは、江南区、ナミョンドン、聖水(ソンス)といった、若者に人気の街では、うなぎ料理、うどん、そば、天ぷら、焼き鳥、お好み焼き、しゃぶしゃぶといった、日本食の中の特定のカテゴリーに絞った専門的な飲食店が増えており、現地の若者の集まりやオフィスのランチタイムに日本食レストランを選ぶことが一種の楽しみになっています。次は「たい焼きがブーム」というのが現地の声です。

本格的な日本食から、韓国風にアレンジしたもの(例えば、コチュジャンでこんにゃく麺を炒めた焼きうどんのような品)まで、バラエティー豊かです。

中国や韓国に限らずアジア地域においては、日本酒、日本のウイスキーやハイボールなどの日本の飲酒文化がアートとして捉えられている傾向や、モダンな創作和食をパーティー感覚で楽しむ店舗がシンガポール、バンコク、ジャカルタといった都市で注目されています。日本語の表記やポップが「おしゃれ＝アート」と捉えられている現象もあります。今後の食を通した文化の交流はますます楽しみです。

吉林　千里（きちばやし　ちさと）さん
中国の上海交通大学で修士号を取得の後、中国でコンサルティング会社を設立、ラグジュアリーブランドのVIP向けイベントやPR、文化を取り組んだブランディングを飲食店、ホテル、会員制社交クラブ、不動産ディベロッパーなどへ提案してきた。ライフワークとしては、ボランティアで文化交流のイベントを行っている。

◇KAGAWAアンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。